

FEther USB-TX / Ether USB-T
取扱説明書・Windows 2000 編

この度は、「corega FEther USB-TX / Ether USB-T」LAN アダプター（以下、本製品）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品をWindows2000 のもとで正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるよう、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。



ここに挙げる手順は一例であり、お客様の環境によっては手順や表示画面が異なることがあります。本書の画面例は AT 互換機/PC98-NX のものです。お客様の環境によっては、ドライブ名などが異なりますのでご注意ください。

目次

1　インストール

お客様の環境によっては、手順や表示画面が異なることがあります。ここに挙げる手順は一例です。ここでは corega FEther USB-TX を例に手順を紹介しておりますので、corega Ether USB-Tをお使いのお客様は、製品名を読み替えてご参照ください。

1.1　用意するもの

・corega FEther USB-TX LANアダプター（本製品）、UTPケーブルなど
・本製品のWindows2000用ドライバーディスク
・コンピュータ（USBが利用可能でWindows2000インストール済み）

1.2　アップデートインストール

本製品のWindows98用ドライバーはWindows2000ではご使用頂くことができません。Windows2000をアップデートインストールされる場合は、本製品のドライバーを削除しパソコンから取り外した状態でアップデートインストールしてください。

Windows2000のインストールが完了しましたら「1.3　ドライバーの新規インストール」に従って本製品のWindows2000用ドライバーをインストールしてください。

1.3　ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーをWindows2000に新規インストールする手順を説明します（ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します）。

インストールをはじめる前にお客様のコンピュータでUSBポートが使用可能な状態かお確かめください。またUSBハブをご使用になる場合は、USBハブの電源供給能力が本製品の消費電流（180mA）に対して十分なものかご確認ください。

1　コンピュータの電源をオンにして、Windows2000を起動します。
2　Administratorsグループ所属のユーザー名でログインしてください。
3　本製品をコンピュータのUSBポート（またはUSBハブ）に接続してください。
Windows2000は本アダプターを自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。
4　「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し「次へ」をクリックします。
5　「場所を指定」を選択し「次へ」をクリックします。
6　フロッピーディスクドライブに本製品のドライバーディスクを挿入し、「製造元のファイルのコピー元」に「a:\win2000」と入力して「ＯＫ」をクリックします。
7　「a:\win2000\netcokk.inf」が表示されていることを確認して。「次へ」をクリックします。
8　下図のようなダイアログが表示された場合は「はい」をクリックします。
ドライバーにMicrosoftデジタル署名がない場合ダイアログが表示されますが、本製品は正常に動作します。



9　必要なファイルがハードディスクにインストールされ、「新しいハードウェアの追加ウィザードの完了」が表示されます。「完了」をクリックします。
10　以上でドライバーのインストールは終了です。全てのウィンドウを閉じてください。

1.4　インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1.4.1　デバイスマネージャによりインストールの確認

1　インストールが正常に行われていれば、デバイスマネージャの「ネットワークアダプタ」の下に「corega FEther USB-TX」が表示されます。これをダブルクリックしてください。

本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークが付いていたり、アイコンが「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。詳しくは、「2　ドライバーのトラブル」をご覧ください。

2　「全般」タブの「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。

3　本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows2000によって自動的に設定されます。これらの情報を確認するには、「リソース」タブをクリックしてください。確認が終わったら「ＯＫ」ボタンをクリックします。

1.4.2　ネットワークの設定

次にネットワークの設定を行います。ネットワーク環境は、プロトコルやアプリケーションの組み合わせが非常に多岐に渡りますので、お客様のご使用環境に合わせて設定を行ってください。
設定は「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。表示されたウィンドウの中の「ローカルエリア接続」を右クリックし、ポップアップメニューから「プロパティ」を選択します。
この中での設定は本製品付属の取扱説明書のネットワークの設定例などを参考にしてください。

1.4.3　ドライバーの設定

次に本製品のドライバーに関する設定を行います。
デバイスマネージャの「ネットワークアダプタ」の下の「corega FEther USB-TX」をダブルクリックしてください。
「詳細設定」タブの中でドライバーに関する設定を行うことができます。各設定項目に関しましては、本製品付属の取扱説明書をご覧ください。

1.5　本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、たとえばUTPケーブルを本製品から外しているような場合は、ドライバーを無効にしてください。ドライバーを有効なままにしておくと、Windows2000はこれをネットワークエラーとみなしてシステムログに記録します。ログへの記録を回避するには、下記の手順にしたがって一時的にドライバーを無効にします。

1　「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」と進み、「ローカルエリア接続」を右クリックして「無効にする」を選択します。

2　無効になると、「ローカルエリア接続」アイコンがグレーの淡色表示になります。再

度ドライバーを有効にするには、同アイコンを右クリックして「有効にする」を選択します。

1.6 USBケーブルの取り外し

USBは、ホットプラグをサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品に接続されているUSBケーブルをコンピュータ（または、USBハブ）および本製品のUSBポートから取り外すことができます。ただしコンピュータの電源がオンの状態でUSBケーブルを取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows2000ファイルの破損を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

1　ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えばInternet Explorer、Netscape Navigator、Telnetやデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。

2　タスクバーの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコン（通常デスクトップの右下）をダブルクリックします。



3　ハードウェアデバイスの一覧の中から取り外したいデバイスを選択し、「停止」をクリックします。

4　「ハードウェアデバイスの停止」ダイアログが表示されたら、デバイス名を確認し「ＯＫ」をクリックします。

5　「corega FEther USB-TX は安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら「ＯＫ」をクリックして、USBケーブルを取り外してください。

1.7 ドライバーの更新

弊社のホームページなどから最新のドライバーを入手したときは、以下の手順でドライバーを更新してください。

1　「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

2　「ハードウェア」タブを選択し「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

3　「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示された「corega FEther USB-TX」をダブルクリックします。

4　「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

5　「デバイスドライバのアップグレード ウィザードが起動します。「次へ」をクリック

します。

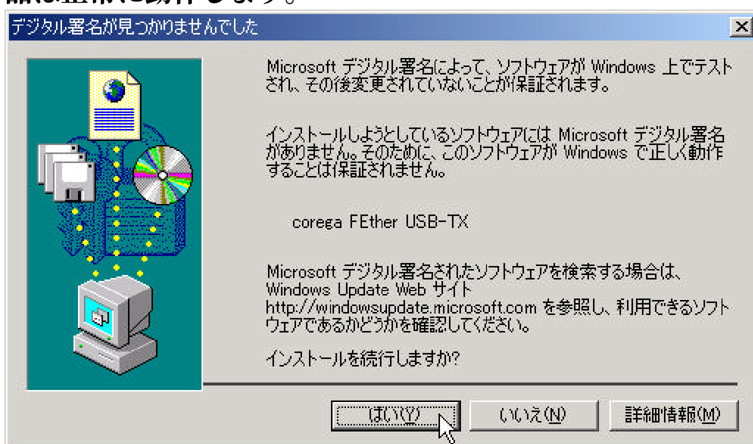
6　「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し「次へ」をクリックします。

7　「場所を指定」を選択し「次へ」をクリックします。

8　フロッピーディスクドライブに本製品のドライバーディスクを挿入し、「製造元のファイルのコピー元」に「a:\win2000」と入力して「OK」をクリックします。

9　「a:\win2000\netcokk.inf」が表示されていることを確認して。「次へ」をクリックします。

10　下図のようなダイアログが表示された場合は「はい」をクリックします。
ドライバーにMicrosoftデジタル署名がない場合ダイアログが表示されますが、本製品は正常に動作します。



11　必要なファイルがハードディスクにインストールされ、「デバイスドライバのアップグレード ウィザードの完了」が表示されます。「完了」をクリックします。

12　以上でドライバーの更新は終了です。全てのウィンドウを閉じてください。

1.8　ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合は、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、再びインストール作業を行います。

ドライバーの再インストールは下記の手順1～3でドライバーを削除した後、本製品をUSBポート（またはUSBハブ）に接続して検出させ「1.3　ドライバーの新規インストール」の手順にしたがってインストールを行ってください。

1　デバイスマネージャの「ネットワークアダプタ」の下の「corega FEther USB-TX」を右クリックし、「削除」を選択します。

2　「デバイスの削除の確認」が表示されたら、「OK」をクリックします。

3　USBケーブルを取り外してください。

2　ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

2.1　本製品を認識しない

「1.4.1　デバイスマネージャによりインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、本製品のアイコン（「corega FEther USB-TX」）の表示が次のようになっている場合には、ドライバーのインストールに失敗しています。

1　「ネットワークアダプタ」の項目がない
2　「その他のデバイス」や不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている
この場合、ドライバーのインストール中に行われるWindows2000関連ファイルのインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。
3　デバイスマネージャで「！」「？」マークが付く
このようなときは、「1.7　ドライバーの削除」の手順に従ってドライバーを一旦削除し、再インストールを行ってください。

2.2　デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャで本誌品のアイコンに「×」が付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。本製品のアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「有効」を選択します。

3　ネットワーク機能のトラブル

ネットワークアダプターによる通信ができない場合は、「故障かな？」と思われる前に、以下の項目を確認してください。

- 取扱説明書のトラブルシューティングを参照して、LINK ランプの状態やUTPケーブルなどを確認してください。
- 「1.4.3　ドライバーの設定」にしたがい、本製品の通信速度と通信モードを確認してください。これらは、接続先の機器（ハブやスイッチなど）に合わせて設定する必要があります。
- 「マイネットワーク」の「近くのコンピュータ」フォルダに他のコンピュータが表示されない場合は、コンピュータの識別情報（ネットワークID）が適切に設定されているかどうかを確認してください。

  ネットワークIDは、「コントロールパネル」→「システム」→「ネットワークID」タブで確認および設定ができます。

ご注意

- 本取扱説明書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- 予告なく本取扱説明書の一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

商標について

corega は株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国Microsoft Corporation の登録商標です。
その他、この文章に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2000年3月　Rev.A　初版